

「働く」って
どういうこと？

企業トップと 学生の 本音トーク

大学コンソーシアム石川は、石川県内の全ての高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）が連携して、教育交流・情報発信・調査研究等を行い、高等教育の充実・発展及び地域社会の学術・文化・産業の発展に寄与することを目的としています。



〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目1番1号
石川県政記念しいのき迎賓館3階
TEL 076-223-1633 FAX 076-223-1644
E-mail info@ucon-i.jp URL <http://www.ucon-i.jp/>



学生・企業 まちなかサロン とは？



「学生・企業まちなかサロン」は、学生と県内の企業トップが本音で語り合う教育の場です。学生は県内の産業の魅力や、それを取り巻く環境を知り、多様な職業観にふれることができます。

更に、普段は遠い存在である企業トップの方々から話を聞いたり、質問をすることは、これからの学生生活や就職活動において大いに役立つものです。

自分の将来、目指す職業について、あらためて考えてみませんか？

本冊子は 2010 年夏に大学コンソーシアム石川で開催された「学生・企業まちなかサロン」のダイジェスト版です。



参加 企業

大村印刷 株式会社 平成22年8月21日(土)開催
**コミュニケーション能力と
素直さが、人を育てる**
代表取締役社長 大村一史氏



澁谷工業 株式会社 平成22年8月27日(金)開催
「Enjoy Life」
取締役副会長 澁谷 進氏



株式会社 アルプ 平成22年8月28日(土)開催
**熱意と努力で
結果は出せる**
代表取締役会長 古賀克己氏



会宝産業 株式会社 平成22年9月3日(金)開催
**地球の未来を守る、
静脈産業**
代表取締役社長 近藤典彦氏



株式会社 北國銀行 平成22年9月11日(土)開催
**人間力アップの
カギは好奇心**
取締役頭取 安宅建樹氏





大村印刷 株式会社 代表取締役社長 大村一史 氏

コミュニケーション能力と
素直さが、人を育てる

企業データ

広告宣伝関係の
高級美術印刷物
の制作・印刷を
主とする、明治
12年の創業の
印刷会社。



澁谷工業 株式会社 取締役副会長 澁谷進 氏

「Enjoy Life」

企業データ

ボトリング（液
体充填）システ
ムでトップシェア
を誇る、石川県
を代表する機械
メーカー。

「就職」という選択

私は印刷会社の4代目に生まれましたが、学生時代は、世界を飛び回る商社マンにあこがれていました。社会がバブル景気に湧き、就職が超売り手市場だったという時代背景もあります。しかし、会社を切り盛りする父の背中をあらためて見たとき、自分が今何をすべきか考えさせられ、あこがれはあこがれとして封印し家業を継ぐこととし、経験を積むため、中堅ながら高い技術を持っていた東京の印刷会社に営業職で就職しました。

背伸びして聞こえの良い会社に就職した同級生は、事前に抱いていたイメージと実際の地味な業務とのギャップに悩んだり、バブルがはじけて企業自体がなくなってしまったりで、ほとんどが転職しました。職業観は人それぞれですが、私は私の会社選択に間違いはなかったと思っています。

印刷物の品質は「人」次第

東京の印刷会社では、自動車や化粧品のカタログ、絵画展の図録など、高度な印刷技術を要する仕事を数多く担当しました。家業が印刷会社だということで、先輩に「お前はすぐ辞めるんだろう。そんな奴に教えることはない」と言われたこともあり、悔しい思いをばねに、絶対に自分を認めてもらおうと努力しました。

良い仕事をするためには、お客さま、そして現場の職人と良い関係を結ぶことが欠かせません。そうした点で、機械がどんなに発達しても、印刷物の品質の良し悪しは最終的には人で決まるという経験もたくさんしました。

今、求められている人材

印刷は、形のない状態でお客さまから様々なニーズを引き出す仕事ですから、高いコミュニケーション能力が必要です。人と話すことがキライな人は、この業界には向いていません。ものづくりのどの工程でも、何気ない一言が添えられることで品質が良くなる、或いは念押しの一語が無いためにミスが生じる。そんな「伝言ゲーム」が日常なのです。

当社に入社する人には、笑顔と素直さを持って欲しいと思います。先輩は、笑顔を作る努力をする人や素直な人には「教えてあげたい」という気持ちになります。素直な人ほど、良い経験ができるし、仕事ができるようになるものです。

会社が社員に求めることは、入社したときと、数年後、また10年後、20年後で、まったく異なるということも覚えておいてください。1年や2年で仕事に分かるわけはありません。経験を積むことで見えてくることの方が多いのです。

大学で学ぶべきこと

採用の選考過程では、「資格」を問われることが多いと思います。でも、仕事をしていない段階で資格を取得しても、どんな意味があるでしょうか。私自身は印刷技能検定の検定員をしていますが、資格は、実際に働いてはじめて生きてくるものだと思っています。大学時代は、実学としての資格取得を目指すより、ものごとの根本を多面的に考える知的作業を数多く経験して欲しいと思います。そうした素養を、採用担当者は決して見逃さないものです。

企業にも人格がある

私は昭和41年に入社し、数年の現場経験のあと、総務・人事を担当しました。その頃の澁谷工業はまったくの無名で、学生が集まらないばかりか、ある人から「澁谷工業は要素技術が足りない」と言われたこともありました。確かに当社の歴代社長で技術系出身者は一人もいません。しかし、それを補って余りある良いお客様がたくさんおられた。納品した機械の不都合な点も、改良点も、すべてお客様がアドバイスしてくださる。その声に真正面から取り組んで来た結果、近年、「技術の澁谷」という評価もいただけるようになってきました。人と同じく企業にも人格があります。だからこそ、個人も会社も人間力を磨くことが大切だと思うのです。

何のために働くのか

その後、営業部門を担当し、国内だけでなくドイツやアメリカといった海外との仕事もしました。私が自身の経験を踏まえて、これから人生の船出を迎える皆さんに伝えたいのは「Enjoy Life」という言葉です。親からもらったたったひとつの命を大切にするためにも人生を楽しんで欲しいと思います。とはいっても、仕事、健康、友人、経済力、どれが欠けても人生は楽しめません。当社の理念「今日一日喜んで働く」には、職場を、喜びや達成感を感じ、人として鍛えられる道場と考えて喜んで働くことが、人生を楽しむことや命を大切にすることに繋がるという創業者の思いが込められています。

挨拶の大切さを知る

ここで、金沢在住のオペラ歌手、岩田志貴子さんの言葉を紹介します。彼女は、イタリアミラノへの留学経験があり、そこにはオペラの殿堂スカラ座があります。スカラとは「階段」を語源とする言葉で、命名の主旨は「一段目が上がれない人は、二段目も上がれない」ということだったそうです。一段目とは、人間として最低のマナー、例えば挨拶です。一流の歌手を目指す人も会社員も同じなのです。さらに、「懂れの人を見つけて欲しい」とも言っています。皆さんは4年間大学で教育を受けることができる。これは、人と出会うチャンスと時間をより多く与えられているとも言えます。こんなふうになりたいと思える人に近づき、深く付き合い、共感することで、何かが生まれ、始まるはずです。

第一印象は人間性で決まる

私は、人のイメージの8割は第一印象で決まると思っています。それは練習で身に付くものではなく、戦国武将、織田信長が、落ちていたごみをさっと懐に入れた森蘭丸を質問一つせず家臣にした逸話にもあるように、日ごろの心構えや姿勢が瞬間的に現れるものだと思います。私もできていないことばかりですが、人生を楽しむためにはいい仕事をし、良い人間関係を築くことです。そのためには挨拶や第一印象が大切だと申し上げておきたいと思います。



株式会社 アルプ

代表取締役会長 古賀克己氏

熱意と努力で結果は出せる

企業データ

「まごころで健康を」をモットーに、臨床検査、食品・環境衛生検査、調剤薬局を展開。



会宝産業 株式会社

代表取締役社長 近藤典彦氏

地球の未来を守る、静脈産業

企業データ

自動車のリサイクル事業を通して、地球規模の循環型社会の実現を目指す。

就職について思うこと

私は高校卒業後、大手企業に就職しました。鉦山で10年間働きましたが、将来を考えて退職し、社員5名ほどの小さな臨床検査の会社に再就職しました。給料は安く、仕事は忙しいという厳しい職場だったのですが、「ここで徹底的に勉強しよう」と心に決め、5年であらゆる検査技術と営業のノウハウを習得し、昭和49年、アルプの前身である北陸医学臨床検査センターを立ち上げました。

皆さんに知ってもらいたいのは、人生の目的は就職だけではないということです。自分のやりたいことに向かって5年、10年みっちり勉強し、会社を興すという積極的な姿勢があってもいいのではないのでしょうか。

社員が誇れる会社づくりのために

私には、創業以来変わらない思いがあります。それは、働いている人が誇りの持てる会社になりたいということです。そのためにはまず、利益を上げられる会社であるか、ということが重要です。私が臨床検査事業のほか、薬局運営や食の安全事業を展開したのは、創業から30年間で90%の企業がなくなるという統計に鑑みてのことです。その甲斐あって当社は増収増益を続け、36年間一度も赤字を出したことがありません。これはとても稀なことで、経営者として勲章だと思っています。働いている人に利益が還元できるシステムも必要です。社屋や機械ばかりが新しくなっても、働いている人が「大事にされている」と感じられ

なければ、会社に誇りは持てません。さらに社会貢献をすることも欠かせません。社会貢献は企業の認知度を高め、働いている人の誇りに繋がります。

私には特別な才能はありません。あるとすれば熱意です。70歳になった今、努力すれば必ず結果は出るかと確信しています。大きく努力した人には大きな幸せが待っています。皆さんもやる気になれば、自分の時代に何かを残せるはずですよ。

中国・大連と石川県・金沢の架け橋として

企業経営と共に社会貢献の一環として私が行っているのが国際交流です。中国・大連からの留学生との出会いをきっかけに、大学間交流のお手伝いから始め、今では県内の経済団体を大連に案内するなどの経済交流も進めています。自分にできることをさせてもらおうという気持ちで続けてきた国際交流ですが、昨年、大連市が私の訪問100回を祝う会を開催してくれた時は本当に嬉しかったです。

これから社会に出る皆さんへ

当社が求めるのは真面目で、正直で、熱意のある人です。熱意があれば人は成長します。また幅広いジャンルの本を読んで視野を広げることも大切です。就職活動を控えた皆さんには、『若者のための仕事論(丹羽宇一郎)』、『伝える力(池上彰)』の2冊をおすすめします。これからの人生、大いに勉強し、たくさん友人をつくり、社会に出たら人に甘えないで。そうすれば必ず結果はついてきます。

「解体」ではなく「再生」

会宝産業は不要になった自動車の解体と部品のリサイクルを行う会社です。「解体業」という、やんちゃ、汚いといったイメージを持つ人も多いでしょう。私はこの仕事を人体になぞらえて、静脈産業と呼んでいます。有限の地球資源を使い、新しいものをどんどんつくり出すのが動脈産業です。一方で、いらなくなったものを処理し、資源を無駄なく再生させるのが静脈産業です。動脈と静脈がないと人の体は動かないように、現代社会にも消費のその後を支える業界が必要です。地球上には、10億台以上の車が走っています。それがすべてゴミになったら、地球環境はどうなってしまうのでしょうか。自動車問題に関わらず、ゴミ問題に真剣に取り組む静脈産業は、地球にとって大切な産業であることに間違いはありません。

資源循環型社会への取り組み

当社では現在、年間1万4000台の車を処理し、世界65カ国に中古部品を輸出しています。持ち込まれた自動車からガソリンやフロンガスなどを抜いて処理し、タイヤやバッテリー、エンジンなど再生可能な部品をすべて取り外してストックします。日本は道路が整備されていることや、車検制度があること、自動車を大切に国民性などから中古部品の品質がよく、海外からの引き合いも多いのです。当社は自動車リサイクル法が施工される前の2002年にISO14001(環境マネジメントシステム)を取得しています。全国の有志と立ち上げたNPO法人を通じて、国際リサイクル

会議を開催したほか、国際リサイクル教育センター(IREC)を設立して研修生を受け入れるなど、自動車解体業界全体に環境へ配慮する意識を根付かせようと地道な活動を続けています。

世界中に幸せの種を蒔く

当社では「あいさつ日本一、きれいな工場世界一」を合言葉に、挨拶や整理整頓を徹底しています。世界中から訪れるバイヤーの中には、私たちの取り組みを理解し、自国で真似をしてくれる人もいます。経営理念の一つである、「会宝産業を幸せの発信基地として、世界中に良い影響を与える」という宣言が、少しずつ現実になってきているのはとても嬉しいことです。これからも、静脈産業のための環境整備や人づくりに真摯に取り組んでいきたいと思っています。

学校だけが勉強の場ではない

勉強が嫌いだっちは、大学に進学せず、22歳で起業しました。社会人になって分かったのは、社会には社会の勉強があるということです。人と触れ合うのも、本を読むのもすべて勉強です。私は、発展途上国を訪ねた時、現地の貧しい暮らしを目の当たりにし、日本の本当の豊かさを知りました。社会でも学校でも、大切なのは学ぼうという積極的な気持ちです。学生の皆さんには、しっかりと勉強し、色々な事に挑戦して、自分の心を磨いて欲しいと思います。



株式会社 北國銀行

取締役頭取 安宅建樹氏

人間力アップのカギは好奇心

企業データ

金融サービスの提供により、地域の社会運営や、経済・文化の活性化に貢献する。

興味を持つことからすべてが始まる

当行では、毎年都市銀行の海外支店に行員を派遣し、研修を行っています。その中で職場とアパートの往復だけで過ごした者と、旅行をしたりして活動的に過ごした者とは、帰国後の成長が大きく異なります。その差は興味を持って挑戦したかどうかにあります。私も22年前、ニューヨーク駐在員事務所に赴任し、4年間を過ごしました。子どもはまだ小さく、妻は英語が全く話せませんでしたが、何とかなるだろうと思い切ってチャレンジし、貴重な経験をたくさんしました。人間の幅を広げる原動力は「やってみよう」という好奇心です。みなさんもぜひ好奇心を持ち続けてください。

社会人として実践してきたこと

私は金沢市金石で生まれ育ち、地元の大学に進学しました。就職にあたっては一番最初に採用してくれた北國銀行に決めました。配属された東京支店では当時さほど忙しい店舗ではなく、毎日早く帰宅していました。時間を持て余す生活にこのままではいけないと、初任給7万円程だった時代に10万円をはたいて英語教室に通いました。この時の努力がニューヨーク勤務に繋がったのだと思っています。自分を常に磨く、どんな仕事でも、人より早く、きれいにできるよう工夫する。このことを心がけておけば、必ず誰かが認めてくれ、次々と仕事を任されるようになります。「着眼大局、着手小局」の言葉通り、大きな目標に向かう時は小さな努力の積み重ねが必要なのです。

人の魅力と豊かな人生は比例する

当行では、地域に愛される銀行を目指して、魅力ある人材の育成に力を注いでいます。私が入行式でいつも話すのは、挨拶と整理整頓の大切さです。これは当行が掲げる「行動規範20の心得」の最初の二つでもあります。挨拶は社会人としてだけではなく、人間としての基本です。また、身の回りをきれいにしようと思わない人は社会人失格です。例えば職場や家のトイレで次に使う人の気持ちを考えられる人と、そうではない人とは、人生の充実度に大きな差が出ます。

魅力的な人になるために必要なことは、豊かな人生を送ることです。人生には想定外のことが多々起こります。岐路に立った時、私は難しそうでも面白いと思える道を選んできました。逃げるのではなく挑戦することで何かを感じ、学ぶ。その経験が、仕事を楽しくし、よい家庭を築き、結果的に人生を豊かにしてくれると信じています。

自分を律する強さも備えよ

毎朝1時間歩いて10分走ることを日課にしています。様々なジャンルの本を読み、英会話も少しずつ続けています。健康と体力は人生の基本であり、若いうちから自分をコントロールしていくことも大切です。本日の講演が皆さんの今後の人生に一つでも役立てば嬉しく思います。好奇心を持ち続け、人間力を高めるためにお互い頑張りましょう。

企業経営者が、学生の質問に、丁寧に、そして熱く答えてくれました。

参加者の質問

新社会人としての心構えを教えてください。

若い人には、「どうしてこの仕事をしなければいけないのか」と、自分が納得できる理由がないと動かない人が多いと思います。自分も若い頃そうでした。でも、まず体を動かしてみることが大切なときもあります。理由は後で振り返って考えればいいのです。

専門職に就くためには、学生のうちに理論をしっかりと学んでおくべきでしょうか。

理論を知っているからといって、仕事ですぐ結果が出せるわけではありません。現場で学ぶことは想像以上にたくさんあります。その意味では真面目で正直な人の方が入社してから成長できます。

いろいろなことに興味を持ちすぎて、結局、何も学べていない気がするのですが、どうしたらいいでしょうか。

知識が浅いから役に立たないという訳ではありません。お客様と趣味の話ができるだけでも仕事のチャンスは広がります。仕事のことや好きなことは徹底的に追求し、あとは幅広くいろんな経験を積んでみてはどうでしょうか。

「伸びるな」と思う人はどんな人ですか。

挨拶と気配りができる人です。たとえばドアを閉める前に、続いて入る人がいないか見回せる人は伸びると思います。当たり前のことがきちんとできる人とも言えますね。

文系、理系を問わず採用していただけるのですか？

技術職は理系出身者が多いのですが、営業や事務などの部署では文系の方もたくさん活躍しています。当社では、学部に関わりなく、人生に夢と希望を持っている人を求めています。

参加者の声

まちなかサロンに参加した学生は、就活に対する視点が変わってきています。今年は澁谷工業と会宝産業で会社訪問も行われました。

プロの仕事を見ることが出来て良かったです。

ほかの大学の参加者と話せたのが良かった。

社長の人柄に心を打たれました。



会社の雰囲気伝わってきて、面白かったです。



先入観を持たずに企業探しをすることが大切だと感じた。

人生の生き方に活かせるお話が聞けてとても良かった。



企業選びのポイントが分かった。

現場の匂いや音、働く社員の方の様子などを直接見ることができ、参考になった。

ふだん見られないものづくりの現場を間近で見ることができて良かった。



私たちの視点に立って役に立つ事を色々話してくれました。

人と出会うチャンスを大切にしたいと思った。

自分が興味のある分野以外の企業について知ることも、勉強になります。



とても迫力があり、毎回刺激されます。

このような会社が金沢にあることを知らなかったもので、新たな発見があった。

人間性の幅を広げるための努力を怠らずにしたいと思った。



就職が楽しみになってきました。